

昭和四年七月二十七日

相 模 地 震 踏 査 報 告

横 濱 測 候 所

今回の地震は縣下全般に強震を感じ各地棚上の物の落下、器内の水溢れ、振子時計止り壁に龜裂を生じ又は剝落し甚しきは家屋移動せる所もあり、殆んど縣下到る所軟弱なる土地には地磐に龜裂を生じ崖崩れ等ありて去る大正十三年一月十五日朝の同じく丹澤山彙を震央とせる裂震に次での強き地震なり
き。

從て其震域も廣大にして關東地方、中部地方の一部に強震を傳へ、東北地方南部近畿地方及び北海道の東部に亘りて有感覺の地震を感ず。此有感區域は中央氣象臺の調査によるに長半徑三〇〇軒短半徑一三〇軒に達せり。

當所の地震氣象は各種地震計とも主要部に入りて描針外れ明瞭を缺きたるも互に補缺驗測の結果次の如し

發震時 午前七時四十八分二十五秒

初期微動繼續時間

六・六秒

初動及其方向

東五七五
南三八一

上四〇〇ミクロン

東八度南へ

最大動の振幅と週期

東三七五〇〇
南一五一五〇
上二〇〇〇
西九度北三八〇〇

二・〇秒

主要動の初動の方向と大きさ

總震動時間

三十一分餘

震度性質

強震(五)急

震央

横濱を距る西北西四十五軒丹澤山嶽北西部

強震の前夜 今回の震央地附近は近來屢々局發性地震を發し、同地方鳥屋觀測所よりの報告によれば四月以降増發し五月に中絶して六月より再び急増せしたために注意を拂ひつゝありしに遂に今回の強震を發するに至り、其直後四回の餘震を伴ひ八月以後も猶ほ衰へざる發震回數を示しつゝあり。本年一月より十月まで鳥屋觀測所に於ける地震回數は次の如し。

震度	月									
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
強震	5	2	2	5	0	6	9	9	5	5
強震ノ弱							1			
弱震						1	1			
弱震ノ弱				2			1	1	2	
微震	2	2	2	3		4	6	8	3	5

管内地震報告 今回の地震に就き管内観測所よりの報告は次の如し。

地名	震度	震動時間	震動方向	震動ノ性質	記	事
青山	強	二分	南東—北西	急	時計止ル、棚上ノ物落ツ、餘震數回有リ。	
鳥屋	強	不詳	南西	急	棚上ノ物落ツ、バケツノ水溢ル、井戸水濁ル、山崩レアリ、餘震四回アリ	
中野	強	〇・三〇	東	急	遠雷ノ如キ地鳴アリ、弱震三回ノ餘震アリ。	
大山	強	〇・三〇	北東	急	地面ニ少シク龜裂ヲ生ズ、餘震一回アリ	
松田	強	三・三〇	北東	上下動ニ次 デ水平動	人々戶外ニ飛ビ出ス、井戸水濁ル、壁落ツ、石垣墓石燈籠倒潰破壊	
箱根	強	二・一	南東	急	地鳴アリ、柱時計止ル	
厚木	強	二・一	南西	水平動	棚上ノ物落ツ、地磐ニ龜裂ヲ生ズ	
深見	強	一・一	北東	上下動後 水平動	急	
澁谷	強	二・一	北東	上下動後 水平動	急	
二宮	強	三・一	北東	急	地鳴アリ	
岡本	強	三・一	北東	急	音響アリ、棚上ノ物落ツ、時計止ル。	
溝口	強	二・一	北東—南西	急	時計止ル、小學校ノ窓硝子一、二枚破レル。	
上溝	強	五・一	南西	急		
都田	強	〇・六	南東	水平動	人々戶外ニ出ヅ、バケツノ水溢レル	
眞鶴	強	一・一	南東	上下動ニ次 デ水平動	人々戶外ニ出ヅ、バケツノ水溢レル	
大磯	強(弱)	一・一	南東	急	家屋ノ動搖烈シク人々戶外ニ出ヅ	

金澤	初聲	葉山	鎌倉
強	強	強	強
三・一	〇・三〇	〇・五〇	〇・四〇
一	西―東	南東	南
水 平 動 急	上 下 動 後	水 平 動 急	水 平 動 緩
		響聲アリ、棚上ノ物落ツ、道路ニ龜裂ヲ生ヅ。	時計止ル水溢レル、地磐ニ龜裂ヲ生ヅ、南北ニ向ヘル壁破ル。 水槽ノ水溢レル

前記報告によるに管内各地の主要動の震動方向は震央附近より内陸一般に南西又は北東に動きて略ぼ震央に直角に現れ相模灣沿岸にては南東又は南に動きて震央と反對の向きに現れたり。

又青山、鳥屋、中野、大山及び松田は震央を圍む近接地にして震動殊に烈しく、崖崩れ、井水の濁り、地磐の龜裂等顯著なる變化を伴ひ且つ數回の餘震を感じたり。

出張踏査報告

川名技手調

一、鳥屋村

1 鳥屋村宮の前(駐在所巡査談)發震前足下に於てゴ―と云ふ地鳴ありて震動方向は東西に強く余震も二三回感じ矢張り皆地鳴を伴ふ。

棚上の書類は皆落下し机上にありし金魚入れの水が西側にのみ溢れしと云ふ。

青の原より鳥屋に來たりし農夫の談によれば途中墓石が倒れたるものあり又畑の甘薯やトウモロコシを植えたる隴が震動の爲め平になりし所ありし由にて當方より青の原方面震動強かりし様なりと

- 2 宮の前巡查駐在所の裏に架する宮下橋の東側の袂約四尺積石崩壊す
- 3 鳥屋神社境内にある石標(臺石二尺角)北より西へ約一度五づれる、同境内の小さな石燈籠二個倒る方向一つは南東一つは北
- 4 同神社前の井戸(水面迄深さ約二間)は地震直後水白く濁りたる由翌廿八日も尙多少、濁り氣味あり又前に在る川の水も發震後薄く濁りたる由なるも廿八日には別に異常を認めず
- 5 宇谷戸にて農夫の談
發震直後より田及堀の水量著しく増加し堀など發震前水のなかりしものが急に流れる、様になる翌日も水量尙ほ減せぬと云ふ水の色には異常を認めず、震動は大なりしも時間短き爲め大正十三年一月十五日のものには及ばず龜裂等なき由
- 二、三ヶ木村 時計は止まりしも棚の上の物品は落下せず自働車待合所の煉瓦造の竈南側の角破損せり
振動方向南―北
- 三、城山の裾串川に沿ふ道路に龜裂を生じ又篠原にても道路に龜裂を生じたる由聞く
- 四、與瀬町 時計は止りたるも棚上のもは落下せず井水も異常なし龜裂も認めず
桂北小學校の向側山大正十二年に崩れし箇所が今回多少バラ／＼崩れし由
- 五、中野町 中野警察署の東側の窓硝子一枚外れかゝる中野警察署調町内陶器店二軒商品破損損害二十

五圓位土藏に小龜裂を生ぜしものあり。

青山駐在所管内 異狀なし(但し學校庭盛土に龜裂)

根小屋 〃 異狀なし

三ヶ木 〃 〃

内郷 〃 〃 (但し駐在所附近龜裂少しあり)

牧野 〃 〃 (但し道路面少し龜裂あるのみ)

日連 〃 異狀なし

吉野 〃 〃

川尻 〃 〃

湘南 〃 〃

與瀬 〃 〃

六、測候所 二號附屬舎被害

玄關入口の壁約五寸巾にて長さ五尺貫に沿ふて剝落し座敷八疊の北及西側の小壁床の西及南側には鴨居に沿ふて小龜裂を生ぜり又臺所西側の壁の下部板間に沿ふて約一間の長さに龜裂す便所は北側の間壁縦に約六尺の龜裂を生ず。(第一圖参照圖中波線は壁の龜裂せし個所を示す)



	古	3	6	
押	床	8	4.5	押
押				便

註 横濱測候所は横濱市仲區山手町の高臺にあり市の東南部に位す。地質は洪積層にして丘陵の上に位する故、地震動に對しては市内の一般沖積層の部分より遙かに堅牢なり

(中央氣象臺地震掛記)

稻村 技手調

1 松田町 (松田警察署にて調査)震度強弱の弱程度なるもの、如し、其他異狀現象なし。

管内よりの報告(調査後測候所に到着せるもの)として「非戸水一時濁り、山崩等ありとあるも調査中

此の如き現象を聞かざりき。

2 秦野町(弱震)(警察談)時計止り人は戸外に出でたるも歩行者には知らざるもの多し。被害異常現象

石碑等倒壊せるもの更になかりき。

3 伊勢原町弱震(警察にて調査)時計は止りたるも墓石石垣等の倒壊もなく井戸水にも變化を見ず、其

他地震の爲に如何になりたりとも思はるゝものなし、大正十三年一月のより時間も短かく強度は半分

に達せざるものゝ如し、猶被害なし。

4 小田原町 強震の弱程度 井戸、地物、家屋等に何等被害なく、且つ其他異常現象もなし。石屋の數個の石燈籠も倒壊せず、サイダー、ビール等陳列せるものゝ中倒れ易きものも倒れざりしと、最も不安定なるものゝ移動せしと思はるゝ方向に東乃至東北東より西乃西南西に振動せしと思はるゝものあり(地のヒヅレも又其れを證するが如し)

5 國府津 強震の弱程度の如し、別段變化なし。

6 大磯町 強震の弱性質稍急の如くなりしも音響少しあり、直ちに割合強く最初の振動(人牀に感ぜしものゝ初め)を南東より感じたり、一度止む様に見えたるも後大きく振動せり。井戸、地形、家屋等其他異常記事なく、又市中にも發見し得られざりき參考資料亦然り。

7 平塚町 強震の弱、小學校にて硝子四枚其他某家に硝子二枚破損し時計止り人皆戶外に飛出でたるも傾斜せし家壁の落下せし家もなし、棚にあるもの少し落ちたるものあり、東乃至東北東より西乃至西南西に最も大きく振動せしものゝ如し。驛にて老姥一人音響ありと云へるも他の多數は知らざりし様なり。

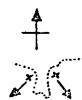
以上七ヶ所中平塚町に於て僅か被害ありし他は右の六町村は割合無事なりき。相模灣沿岸地方は縣内中部より強く感じたるものゝ如く、大船驛ホームの十間餘石の突出したる點等より相像し得うる。

昭和四年七月二十七日強震被害調

高木 技師 調

1 淺間山崖崩 市内中區弘明寺横濱高等工業學校裏(西南西方)淺間山北面の崖(土砂採切跡)高さ約二十五米の突角の東西各一ヶ所巾一間程崩壊す

其方向北四〇度西及南四〇度東なり。



(第二圖参照)

2 弘明寺町堰の上附近の被害(巡査派出所にての調)附近の酒商氷店等に於て清酒、麥酒、サイダー等の損害及陶器店硝子商等の損害は約二百圓位なり。又ショーウインドーの大破せるもの一軒、軒の傾きしもの二戸あれどもさしたることなく直に復舊せり。

3 日下町横濱刑務所附近 同所敷地は全部新に埋立てたるものなりし爲刑務所及官舎の塀(コンクリート)に沿ひ小龜裂を生じ官舎の煙突二個倒れしも其他さしたる被害なく溝梁を埋立てたる個所には縦横の小龜裂生ぜり

4 杉田及八幡橋附近(杉田駐在所調)杉田には酒瓶サイダー等の被害の外さしたることなきも駐在所内南東方の壁に小龜裂を生じ附近の埋立て道路にも小龜裂を生じたりと云ふ。又新築の森中原小學校應接室の壁に多數の龜裂を生じたりと云ふ。尙同地方は大震當時も被害は至つて輕少なりしと云ふ、同駐在巡査の談に依れば八幡橋附近までショーウインド大損害を受けし店ありと云ふ。

5 逗子町 逗子驛東方踏切に出でんとする道路北側民家裏に小崖崩れあり約東南東に土塊落下す

6 逗子町田越川北岸養神亭東隣の川沿ひの石垣に巾約三尺程の龜裂生ず其方向南四度東なり披露山には異常なしと。

7 葉山町 警察署西側及南側の壁に龜裂多し、階上貴賓室も同様なれ共官舎には異常なしと平素にても階上を歩行するときは階下にては震動を感ずる程度故建築は強固ならざりしなるべしと。

御用邸及御用水源池及民家等には異常なし。

8 鎌倉材木座の藥店某方の藥品顛落發火し大事に至らんとせしを人々驅付け消止めたり。

9 鎌倉警察署東側壁及梁端に龜裂生ず。

10 鎌倉一ノ鳥居四ツ辻に小龜裂生ず。

11 稻村ヶ崎先端崩壊し、砂烟高く騰りしを葉山海水浴客望見せしと云ふ。

12 片瀬龍寺門前の石造五重塔の輪頭及頂重北一〇度西に落ちたり同寺總門も同方向に移動せしと云ふ

13 龍ノ口遊園地の地盤及道路は縦横に龜裂生じ展望臺東屋等の壁は南側を主として殆んど全部揺り落さる(壁は博覽會建物の様式にて木にシツクイを塗り付けたる急造物多く、東屋等は土壁なり)

14 江の島は被害なし、海洋博覽會建物も異常なし。

15 茅ヶ崎(南湖院測候部員談)地鳴なし。プールの水は北々等に多く流れ出で(平素北東隅低き爲か同方向に溢出す)金魚を飼養しある大甕の水も北々東に溢れ金魚も同方向に飛出し居れり。

16 百葉箱内の蒸溜水を入れ置きたる長楕圓形の藥瓶は北向きに倒れ居れり病院内には被害なし。

17 茅ヶ崎警部補駐在所(警部補談)今次の地震は上下動著しからざりしも水平動は大正十三年のもの位に感じたり只々震動時間は短かゝりしと振動方向は略北二〇度西へ、地鳴なし。駐在所脇東海道に多少龜裂ある外異常なし。

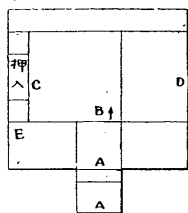
18 海老名村河厚口(相模鐵道驛長談)茅ヶ崎より出勤の途中第一カーブに來りし時地震あり南東方より激動を受けたる様に感じたり。

19 同(同助役飯尾氏談)發震當時には鵜沼病院に居りしが江ノ島方面よりゴーンと言ふ音響聞えたり。

20 同同驛待合室の南方及東方の壁に小龜裂あり。

21 厚木町相模川鐵橋脇料理店魚專の食卓上の番號札南四五度西に倒る

22 厚木警察署長官舎狀況南一七度西向きに建てある署長官舎の被害狀況は左圖の如く玄關入口及び敷



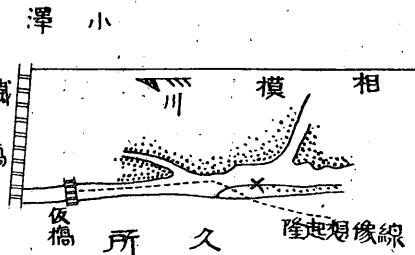
台鴨居の壁Aは全部北側に剝落し座敷南側の壁Bは鴨居及支柱とに沿ふ龜裂を生じ東側の壁Cは殆んど中央部に約一〇度の傾きにて裂線一箇を生じEなる片開き襖戸は蝶番上下共離脱し其西枠の取手爪はずれざりし爲か戸は蝶番の方南方にはみ出したり、又座敷南東隅の書棚上の飾物は矢印の如く顛落せしも憐室に掛けありし柱時計は北に傾きて止りたり。(第三圖參照)

23 鑿井の水色變ず(厚木中津間運轉手談)地震直後鑿井の噴水白濁したり。

24 愛用郡内の地割(厚木警察署調)妻田村巡査駐在所前の道路に疊の隙間程巾さの龜裂生ぜり。

愛川村細野及田代の縣道に崩壞各一ヶ所あり。

25 高峯村小澤より梅澤に至る縣道に崖崩れ一ヶ所あり、相模川河身隆起せし箇所より略南三五度西八
百米に當る。



26 相模川河身隆起。高峯村小澤より田各村久所に至る縣道にて相模川

に架せる鐵橋上流約百米の仮橋直下より約二百米に亘り久所寄流路の
中央より稍々中洲に近き所巾約一米隆起せし様認められ新聞紙の傳ふ
る如く地震直後河水濁濁せしと云ふ(第四圖参照)

27 同上河岸震動狀況 川の沿岸にて鮎釣りなし居りし人の談によれば
地震の際河心の方にズル／＼すべりし故數次後退せしもなか／＼止ま
らざりし故薄氣味悪しくなり遁げ歸りしと云ふ(久所自動車發着所員
談)

28 田名村久所地震の模様 震動は仲々大きく大正十三年の者と略ぼ同
程度位に感ぜしも震動時間は短か／＼し故損害なかりしならんと思はる發震直前に略ぼ南四〇度西よ

りドダウン云ふ地鳴ありたり地内にては地割れ及家屋の損害はなき様なり。

29 相模川河身の龜裂 厚木町と河原口間の同川の河身にて小兒等の水泳せる場所に川岸に沿ふ長大なる龜裂生じ水泳に危険を感ずるに至れり(縣蠶業試驗場長福田技師談)

30 長後の被害状況(巡查駐在所巡查談)發震と同時に地鳴ゴーを聞く駐在所には別に被害なきも神柵落下せりと云ふ(神柵は多分南向きにつりありしなるべし)長後には別に家屋の被害はなかりしも境川に架けある橋の下方の堤に龜裂生ぜり。

31 六會村 龜井野附近(駐在所巡查談)土臺より家屋のづれし家二三軒ありしと云ふ。

32 戸塚附近(戸塚警察署にての調)入口の壁龜裂す方向南二〇度西官舎の壁なりし爲全部崩落す。
字矢部の鐵道踏切より東二丁程の所にて國道側溝の敷石持ち上りたる所あり。

33 豊田村地内鐵道線路の被害(同上)東京點四四軒八の所にて軌道曲る同上四二軒五の所に汽車止る。

34 横濱驛地下道の南北兩側(南四〇度西—北四〇度東)のタイル巾さ三尺程剝落す。

35 神奈川區千若町二丁目地先横濱港第二期擴張計畫として内務省土木出張所に於て新埋立せる防波堤に北一〇度東に走る多數の龜裂生じ濁水の噴出口は波狀をなし波狀面の深さ約一米波長約五米程なり

36 千若町二丁目の横濱市港灣部工營所セメント倉庫は格納せるセメント約二三五疋の爲に中央部陥没す。

37 一本松小學校南東寄の校舎の壁所々破損し中央部最も甚だしく校舎は稍南東方に傾きたり。

其他市内に於て壁の龜裂せるものショーウインド硝子の破損瓶類の破損による損害等多數なり。

地震に關する件報告

横濱測候所報告

拜啓今回三浦郡水田早魃並に害虫被害調査書中衣笠村大字阿部倉及田浦の各項備考欄に左記の如く去る七月廿七日地震に關する要注意事項記載之れ有り候に付不取敢御報告申置き追て精査の上改めて御報告申す可く候也

記

1 衣笠村大字阿部倉

(早魃のため)龜裂甚し關取種多く害從て大、高所と雖も出水あり連年良かりしも七月廿七日の地震より減水す。

2 田浦町大字長浦

七月廿七日の地震より出水多く虫害なく濕田各戸田故良作なり。